



昭和55年に新宿、池袋、浅草と共に始められた、上野から銀座に至る歩行者天国は、時間制限はあるものの当時世界最長の歩行者空間だった。



文——窪田陽一 Kubota Yoichi ●埼玉大学大学院理工学研究科教授
写真——尾花基 Obana Motoi

逍遙しやうのゆとりようととり【歩行者空間】

全ての道は歩いて通る所だった。野山の道は今もその面影を留めている。その昔人々は道の中央を歩くことができたのだという実感は、人里を離れずには得がたくなっている。だが、歩行者が道端に身を寄せようになったのはそれ程最近のことではない。古代ローマ帝国には馬車や荷車が通行する車道と歩道が画然と分けられた石畳の道があった。日本では古代中国の都城制に倣った都みやこの一部で並木を植え歩車道を区分したかに見える街路が出現した。だが馬車交通が普及しなかった社会に歩道と車道を分け隔てる観念は根付かず、幕末の開港都市に欧風の街路が登場するまで人々は大手を振って道を闊歩していた。

昭和の半ば頃から車社会が急速に進行したことを契機に、歩行者専用道路という言葉が発明された。ただ、歩行者のための空



多摩湖から境浄水場に至る一直線に延びる水道の本管の上に、多摩湖水道道路は歩行者自転車道として登場した。



限られた幅員の中に植栽と歩道が詰め込まれた烏山川緑道。典型的な蓋掛け緑道の風景。



新宿通りの歩行者天国。取り付く島が無い程の車道の広さが実感される時間を楽しむ人々。



つ歩まざるを得なかった。震災復興の街づくりではこのような道が再び生まれたいことを切に祈りたい。

二十世紀が去って十年余りが過ぎたが、街の佇まいは新世紀に相応しく調律されてきただろうか。テレビ放送がデジタル化されたが、昭和に普及したアナログ地上波のアンテナは放置されたまま屋根の上で空に突き刺さっている。太陽光発電パネルを屋根にのせた住宅が増えようが、電線は依然として空を覆い、電柱は林立し、広告看板は我が物顔に氾濫したまま、人々の目を苛立たせ、そして麻痺させている。スマートフォンがどれ程普及しようとも、スマートシティが標榜されようとも、イメージが先走った言葉とは裏腹に、相変わらずスマートフォンとは呼べないまちなみの中で、人々は眼差しの行方を見失っている。小奇麗かも知れないが、心地良さを醸し出す安寧を包み込むような眺めにはまだ程遠い。

それが普通であることの不条理を知ってか知らずか、人々は日常の眺めを後にして、挟雑物とは無縁の景色を求め自然や古刹に歩みを進める道行に出掛けるのかも知れない。だが、旅の醍醐味は異郷の地の常住の風趣を体感することにあると気付くならば、自らの日々を豊かに生きる場所として身辺

間を特別にしつらえるに際し、建て詰った既成市街地では場所の捻出が難題となった。苦肉の策ながら、用水路や小河川にコンクリートの蓋を掛けて歩行者優先を標榜した歩道が登場し、鉄道線路の跡地を転換した緑道も同様に並んだ。人通りが多い都心では、歩行者天国という命名の下、道路空間の意味の時限付き転換が図られた。それでも歩行者のための道がネットワークを成しているとは未だに言い難い。街路の歩道も拡充整備されてはいるが、大方の道は歩車混在のままであり続けている。

身の周りの環境は視覚を通じて景観として人間の脳裏に現象し、見る者にとつての意味の空間分布が風景として感受される。道の上を歩く人の目を通して環境世界の体験は編集されていく。それは生活の質の基底を成す。車を降りて歩いてみれば一目瞭然である。

今年三月に起きた大震災の直後の日々、燃料が入手できず、愛車を家に残して徒歩による通勤を試みた。そこで体感した道の寒々しさは、往来する車が激減した物悲しさに起因するものではなかった。歩く人々の存在を忘れたかのような郊外の間延びした空間が広がる中で、歩きやすいとはお世辞にも言えない道程を空疎な思いを抱きつ



工場への引き込み線の線路敷きを転用した武蔵野市のグリーンパーク遊歩道。ゆったりとした敷地の中に濃密な緑陰が広がる。途中から三鷹市の堀合遊歩道になる。



活気溢れるアーケード商店街として知られる吉祥寺サンロード。昭和46年に初代アーケードが完成し、車に気兼ねせずに歩くことができる空間が生まれた。



の風景を彫琢する欲びを見出しでも良いはずである。

目の前の普通のまちなみを支えてきた昭和の刻印を今一度じっくりと見つめ、風景を磨き直す方途に思いを巡らそう。環境の世紀に相応しい身嗜みみだしなを整えて行く時期が過ぎないうちに、スマート・ランドスケープと自称して恥じない風景を本腰を入れて組み上げたい。縮退という言葉にまちづくりを萎縮させることなく、人々が歩く道の空間を仕切り直し、逍遙じょうぎょうの一時に人生の謳歌を彩るようなゆとり溢れる風姿を蘇らせようではないか。